

笑顔大好き

発行者：常井洋治
〒319-0205 笠間市押辺1745
TEL.0299-45-6818
FAX.0299-45-0818

— 燃える郷土愛。全力投球!! —



昨年暮れの県議選において、皆様のご支援のおかげで、無投票で7回目の当選をさせていただきました。心からお礼申し上げます。

1月10日に県議会議事堂に初登庁しました。新しい議員章（バッジ）をいただき、身震いする程の緊張と昂ぶりを覚えました。初心にかえり、選挙で皆様に訴えたことを一つひとつ実現していく覚悟です。

そして、県政大改革を進めながら、「県民誰もが生き心地のよい、生きやすい社会」づくりに取り組んでまいります。

JR東日本本社へ

小原踏切の抜本的改良を要望

1月6日、笠間市小原のJR常磐線の踏切で母子が亡くなる事故が発生しました。お二人のご冥福を心からお祈り申し上げます。私は、この事故を踏まえて、安全な踏切にするため、JR東日本本社に出向き、市川東太郎副社長に抜本的改良を求めました。地元選出の額賀福志郎代議士にお世話になり、地元小原区の小蘭江一三市議にも同行して頂きました。



朝日のまぶしさ対策として遮断棒にヒラヒラが垂らされた。(事故から22日後の事故と同時刻の午前8時頃)



JR東日本本社にて、額賀代議士(中)、小蘭江市議(右)と要望

要望(令和5年1月19日)

- ①上り下り線路を寄せて中州を無くして、2段階の踏切を1段階に一本化する。
- ②点滅警報機をもっと大きく見やすくする。
- ③踏切内道路の屈曲の改修及び拡幅
- ④踏切に接続する市道の拡幅
- ⑤東側市道と踏切との高低差の改修
- ⑥朝日のまぶしさ対策
- ⑦警報音の音量の見直し

回答(令和5年1月27日)

(額賀事務所を通して、文書で回答)

- ①点滅警報機の大型化を図り、目立つようにする。遮断棒にベルト状のものを垂らす(1月27日実施)。警報機については、朝日のまぶしさ対策も含め、全方位型に改修(2月16日実施)し、全方向から視認できるようにする。
- ②踏切内の道路については、道路管理者である笠間市とよく相談し、市の意向を踏まえて対応する。
- ③上下線路を寄せるなどの大掛かりな対応策については、踏切付近に大きな改修が計画される際に、ご要望も意識しながら対応する。
(以上、原文のまま)

常井のコメント

- ①この踏切の構造的な欠陥を問題視している。
- ②安全で安心して渡れる踏切にするための第一歩が小さいことから始まった(前記回答①)。
- ③警報音が電車通過時に極端に下がるのは、極めて危険なので早急に改善を求めていく。
- ④今が前記回答③の「踏切の大きな改修」が必要な時だと認識すべきであり、上下線路を寄せて、一回で渡れる踏切にすべきである。続けて要望していく。
- ⑤踏切内外の市道の改良は、笠間市の迅速な対応を求めたい。

※今回は、R5.2.9現在で作成しています。

新 県議会の概要

R4県議選
投票率
38.54%
前回H30 41.86%
(前回比↓3.32)

1 議員定数 62名 (うち、女性議員6名)

2 平均年齢 56.2歳

※R4笠間市議選 投票率45.70%
前回H30 54.34% (前回比↓8.64)
※H30県議選・市議選は同日選挙であった。

3 年代別議員数内訳

40歳代	15人	50歳代	19人	60歳代	15人	70歳代	9人
------	-----	------	-----	------	-----	------	----

30歳代4人

4 当選期数別、会派別内訳 (R5.1.23現在)

(単位:人数)

会派	期数	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期	10期	計
いばらき自民党		2	7	5	5	6	1	3	6	1	1	37
公明党		1	1		1	1						4
国民民主党		1	1	1	1							4
茨城無所属の会		2	1									3
立憲いばらき			1		1							2
日本共産党				1								1
日本維新の会		1										1
市民ネットワーク		1										1
無所属		7	1		1							9
計		15	12	7	9	7	1	3	6	1	1	62

5 常任委員会の構成

	総務企画 委員会	防災環境 産業委員会	保健福祉 医療委員会	営業戦略 農林水産 委員会	土木企業 立地推進 委員会	文教警察 委員会
定数	11	10	11	10	10	10

常井洋治は
総務企画委員会に
所属しています

一緒に創ろう! 令和5年県議会1月臨時会を終えて (令和5年1月20日~23日、4日間) ふるさと 笠間市・茨城県 の輝く新時代

改選後初の議会である令和5年1月臨時会は、1月20日から23日の4日間開かれ、議長・副議長の選出、常任委員会委員の選任に加え、予算、報告など6件の議案が可決、同意、承認されました。

新型コロナウイルス感染症対策関連予算 (令和4年度)

(単位:百万円)

区分	第4回定例会まで	12月専決処分	1月補正(臨時会)	合計
一般会計	206,374	2,228	5,106	213,707

※単位未満の四捨五入により、合計と各項目の足し上げが一致しない場合がある。

令和4年度1月県一般会計補正予算を可決

主な事業

◎補正予算※ 398億51百万円

◎補正後予算 1兆3,609億13百万円

※12月専決処分3,173百万円を含む

12月専決処分

・いば旅あんしん割事業 2,228百万円
・高病原性鳥インフルエンザ防疫措置 946百万円

1月補正

(1)原油価格・物価高騰等対策

・医療機関等物価高騰対策支援事業	1,430百万円
・福祉施設等物価高騰対策支援関連事業	1,071百万円
・私立学校等物価高騰対策支援関連事業	210百万円
・農林水産物価高騰対策支援関連事業	953百万円
・交通事業者等原油価格高騰緊急支援事業	90百万円
・貨物運送事業者燃料価格高騰対策事業	836百万円
・LPガス料金負担軽減支援事業	377百万円
・きのこ生産資材導入支援事業	24百万円

(2)「稼ぐ力」の回復・強化

・いばらきの産地パワーアップ支援事業	41百万円
・担い手確保・経営強化支援事業	248百万円

・農地集積総合支援基金積立金

163百万円

(3)「新しい資本主義」の加速

・出産・子育て応援事業	2,439百万円
・マイナンバーカード取得促進事業	10百万円

(4)防災・減災、国土強靱化の推進、安全・安心の確保

・こどもの安心・安全対策支援関連事業	399百万円
・県立学校教育活動継続支援事業	140百万円
・原子力災害対策事業	596百万円
・特定交通安全施設整備事業	43百万円
・国補公共事業【流域下水道事業会計560】	27,608百万円
・鹿島臨海都市計画下水道事業	

【鹿島臨海下水道事業会計245百万円】

総務企画委員会の質疑要約 (R5.1.23)

●私立学校における電気料金値上げによる光熱水費の高騰対策に加えて、コロナ対策で窓を開けたまま冷暖房をつけ、電気代が高んだ部分についても支援を考えるべきだ。

●幼稚園バスの園児置き去り死亡事故を踏まえ、安全装置の設置に対して補助するとしているが、事故の背景にある人員不足等の対応にも予算措置をすべきだ。

【総務部】

常井委員 私立学校(小・中・高)における光熱水費の高騰対策として、令和3年度の光熱水費に15%の物価上昇率を乗じた金額の1/2を助成するとしているが、光熱水費には電気代以外も含まれるのか。

飛田総務課長 電気代が主となるが、光熱水費と考えているため、水道代やガス代なども含まれる。

常井委員 私立学校では、コロナ対策で換気のために窓を開けたまま冷暖房つけており、電気代が高む大きな要因になっている。光熱水費の高騰対策は、財源が国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(以下「臨時交付金」という。)となっているが、コロナに起因する部分が全く加味されていない。電気代の高騰部分だけの支援で良いのか、今一度考えるべきだと思うが、新年度予算で対応する予定はあるのか。

渡邊財政課長 原油価格・物価高騰等対策として約50億円の予算を計上しており、その大半が光熱水費となっている。ロシアのウクライナ侵攻以降、電気代が非常に高騰しており、その影響額を各部で試算して計上した。全体としてどういう影響を与えているかという側面はあるが、各団体からの要望や他県の状況などを勘案して、今回は光熱水費に着目した予算とさせてもらった。

常井委員 臨時交付金の使途は、電気代の高騰部分と一番困っている部分(窓を開けたまま冷暖房をつけることで高む電気代)のどちらも認められると思うので、これからの新年度予算において十分に頭に入れておいてもらいたい。

幼稚園の送迎用バスでの園児置き去り死亡事故を受けて、国は安全装置のガイドラインを策定したわけだが、今回の補正予算では、安全装置1台当たりいくらを想定して補助額を算出したのか。また、安全装置にはどのような種



総務企画委員会での質疑の様子

類があるのか。

飛田総務課長 国のガイドラインでは2種類の安全装置が示されている。1つは、バスの最後部にアラームを止める装置を設置するもので、エンジンを切るとアラームが鳴り、ドライバーが最後部まで歩いていきアラームを止めるタイプ。もう1つは、センサータイプのもので、バスの中に取り残された人がいるかどうか、センサーで確認できる。金額については、概ね30万円程度と国から示されたことがあるが、具体的なものは、今後示される予定。なお、1台当たり10万円という補助額は、国の事業スキームからきている。

常井委員 今回の事故は、完全なヒューマンエラー(人為的ミス)だが、その背景には、人員不足や業務の煩雑さ等があると思っている。安全装置を設置することは良いことだが、肝心の人員不足への対応や運転手の研修などについても、しっかりと予算措置をして対策していかなければ、同じような事故は起こりうると思っている。もう少し周辺まできちんと捉えて、何が大事なのか、よく考えて安全装置とセットで提案するくらいの方がいい。執行部ではこのような議論はしないのか。

飯塚総務部長 子どもの安全をどう守っていくかは、機器の整備だけで済むものではないと思っている。ただ一方で、早急に措置をするという対応の中で、人員配置の人員費をどうするのか、制度をどうするのかについては、国とあわせて議論をしていかなければならないところがある。

今回は、早急な対応のため機器の整備に留まっているが、今後の予算の議論の中でしっかりと研究を進め、必要なものには予算をつけていく、そのような議論をしていきたい。

国道355号石岡岩間バイパスと市道との交差通行が実現（福島地区）



福島地区の国道355号の4車線化に伴い、閉鎖していた市道（市野谷～福島（本多医院前通り））が通行可能になりました。設計変更までしての実現でしたが、地域の皆様の要望が実現しました（写真左）。バイパスの4車線化で、地元住民の生活の利便性を犠牲にすることは、断じて避けるべきと考えます。



市野谷方面からの軽トラが横断している様子。引き続き、信号機の設置に向けてがんばります。（R5・1月）



下安居地区の4車線バイパス通過で、この市道も閉鎖する問題に直面している。地元区長さんたちから、設計変更と信号機設置の要望が出されています。（R5・1月）

予算の箇所付けで水戸土木事務所と意見交換

令和5年1月臨時会で議決された補正予算について、県水戸土木事務所の幹部から説明がありました。



水戸土木事務所幹部職員と実のある意見交換ができた。（R5・1月）

主な箇所付けは、次のとおりです。

- ①国道355号宍戸橋架け替えの用地買収 10百万円（約3割が既買収）
- ②石岡城里線バイパス（茨城中央工業団地笠間地区～長兎路）の用地買収 10百万円（約4割が既買収）
- ③涸沼川の河川改修 700百万円（宍戸橋、笠間地区、茨城町）などです。

常井のコメント

- ①下安居地区の石岡城里線の4車線バイパス新設に伴い、下安居地区の妙行院北側の市道を閉鎖する設計になっているが、設計変更を求める（前出355号と同じく通行できるようにすべきだ）。
- ②涸沼川で進めている竹伐採（仁古田、安居、押辺、土師、住吉、長兎路、湯崎地区）後、翌年に竹を生やしてしまうのは、税金の無駄使いになるので、良い知恵を出して管理するよう求めた。
- ③涸沼川の下加賀田橋付近の河川改修計画に関する地元説明会を令和5年度に行うよう求めた。
- ④県道真端水戸線（大橋～池野辺）の改修計画を前進させるよう求めた。

とこい洋治が見つけた地元の元気！



▲旧岩間地区の「長沢ロック」では、ロッククライミングの愛好者が大勢楽しんでいる。（R4.12月）



▲笠間市消防出初式が盛大に開催された。消防団員、消防職員の皆様に感謝を申し上げます。（R5.1月）



▲笠間市「二十歳の集い」で、私は若い女性がかかる子宮頸がんの検査をすすめた。（R5.1月）



▲涸沼川の竹伐採が、土師、住吉、湯崎地区で進められている。（R5.1月）



▲第60回の節目を迎えた県下中学校交歓笠間市駅伝大会には、県内中学校26校、464人が参加した。（R5.1月）



▲合気道合気会茨城支部道場の鏡開きが3年ぶりに開かれた。私は県合気道連盟会長として出席。（右端は植芝守央道主）（R5.1月）

HPアドレス●<http://business2.plala.or.jp/tokoiy>をぜひご覧ください。

フェイスブックもどうぞご覧ください。皆様のご意見をお待ちしています。

YouTubeチャンネル「とこいは、やります。」を開設しました。ぜひご覧ください。



ホームページ



フェイスブック

YouTube

